

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】平成24年8月16日 (2012.8.16)

【公表番号】特表2011-528314(P2011-528314A)

【公表日】平成23年11月17日 (2011.11.17)

【年通号数】公開・登録公報2011-046

【出願番号】特願2011-518798(P2011-518798)

【国際特許分類】

C 0 1 C 1/18 (2006.01)

C 0 5 C 1/02 (2006.01)

C 0 5 C 13/00 (2006.01)

【F I】

C 0 1 C 1/18 B

C 0 5 C 1/02

C 0 5 C 13/00

【手続補正書】

【提出日】平成24年7月2日 (2012.7.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 約 1 mm よりも大きい平均粒径を有する硝酸アンモニウムと約 1 0 0 0 μ m 以下の平均粒径を有する実質的に非酸化性の化合物を混合すること、及び

(b) 該非酸化性化合物の存在下で該硝酸アンモニウムの平均粒度を下げて、約 1 μ m から約 1 0 0 0 μ m の平均粒径を有する硝酸アンモニウムと非酸化性化合物の実質的に均質な混合物を生成し、実質的に非爆発性の粉体を形成すること、を含む、安定な硝酸アンモニウム複合材料の形成方法。

【請求項 2】

約 1 μ m から約 1 0 0 0 μ m の平均粒径を有する固体状硝酸アンモニウムと約 1 μ m から約 1 0 0 0 μ m の平均粒径を有する非酸化性粒状物質の実質的に均質な混合物を含む非爆発性組成物。

【請求項 3】

(a) 約 1 mm よりも大きい平均粒径を有する硝酸アンモニウム粒子の平均粒径を下げる、こと、及び

(b) 該硝酸アンモニウムを約 1 , 0 0 0 μ m 以下の平均粒径を有する実質的に非酸化性の化合物と混ぜて、約 1 μ m から約 1 , 0 0 0 μ m の平均粒径を有する実質的に均質な硝酸アンモニウムと非酸化性化合物の混合物を生成し、実質的に非爆発性の粉体を形成すること、を含む、安定な硝酸アンモニウム複合材料を形成する方法。